

一般社団法人 岐阜県臨床検査技師会

平成 30 年度 第 4 回理事会 議事録

開催日時：平成 30 年 10 月 12 日（金）午後 6：30 から

開催場所：技師会事務所

出席者：斎藤、後藤、浅野、外川、松浦、松本、熊崎、長谷部、川合、乙訓（代理）、中村、兼平、羽柴、渡邊、佐藤、澤野、高崎

欠席者：藤本、森（さ）、松原、土屋、柴、糸山、森（晴）

議長：浅野敦会長

議事録：後藤庶務部長

【各種連絡事項】

議長：浅野敦会長により進行された。

【庶務部長より】

1. 日本臨床衛生検査技師会より連絡

1 会費の送金について

- ・平成 30 年 7 月締め分、会費集金処理ができ 8 月 31 日付で銀行口座に振り込まれた。

送金内訳

平成 30 年度会費 10,000 円×1 名=10,000 円

平成 30 年度入会金 500 円×1 名=500 円

平成 30 年度再入会金 なし

送金合計額 10,500 円 以上の会費送金があった。（後藤庶務部長）

2 平成 30 年度「生涯教育推進研修会助成金」の送金について

- ・平成 30 年度「生涯教育推進研修会助成金」を 8 月 31 日付で銀行口座へ振込送金された。

助成金内訳：輸血細胞治療部門研修会（2018/7/22）：¥30,000 円

以上の会費送金があった。（後藤庶務部長）

3 平成 30 年度「生涯教育推進研修会助成金」の送金について

- ・平成 30 年度「生涯教育推進研修会助成金」を 9 月 28 日付で銀行口座へ振込送金された。

助成金内訳：臨床生理部門（循環生理分野・超音波分野合同）（2018/9/2）：¥33,500 円

以上の会費送金があった。（後藤庶務部長）

4 検体採取等に関する厚生労働省指定講習会の受講促進のお願い

- ・平成 30 年 9 月までの岐阜県の検体採取等に関する厚生労働省指定講習会の現状として、平成 30 年 8 月 0 人、9 月 25 人。平成 30 年度の修了者 63 人。平成 29 年度までの修了者 641 人。修了者合計 704 人。会員数 857 人。修了率 82.1%。未修了者 153 人であった。（後藤庶務部長）

- ・岐阜県が一番良い修了率になった。来年度の新卒者（現在の 4 年生の学生）までが

受講の対象になる。未修了者(153人)は自宅会員や(定年前後で)受けないと思っている方がほとんどだと思われるが、来年の新入職者に関しては受講するように勧めてください。(浅野会長)

5 結核研究奨励賞候補推薦についての依頼について

- ・日臨技より、奨励賞候補者推薦依頼が届いた。(後藤庶務部長)
- ・毎年依頼の案内は届くが、「結核に関する調査研究で優れた内容を持ち、原則として過去3年以内に、学会、研究会、雑誌などに発表されたもの、一つの主題について、何年かにわけて発表されたものをまとめても良い。」という事なんです、前回の常務理事会でも該当者がなかった。身近に該当者がいた場合は連絡をお願いします。(浅野会長)

2. 愛知県臨床検査技師会より

- ・愛知県臨床検査標準化ガイドラインに対するパブリックコメントについて
- ・愛知県臨床検査標準化ガイドラインに対するパブリックコメントについて依頼があった。(後藤庶務部長)
- ・愛知県臨床検査技師会のHPに愛知県臨床検査標準化情報という事で掲載されている。愛知県はこのように県で標準化が進められていて各部門で作成されている。今回は「臨床化学検査」第2版を作成したためパブリックコメントを募っている。県単位でコメントを出すため、確認後、意見や要望があれば今月までに連絡をお願いします。(浅野会長)

3. 岐阜県医療勤務環境改善支援センターより

- ・岐阜県医療勤務環境改善支援センターより中間報告が届いた。(後藤庶務部長)
- ・医療機関に勤務している方々の勤務環境(産休、育休、時間外等々)支援の組織団体。当技師会からは森副会長が委員として出席している。支援センターから打診があった。「岐阜県医療勤務環境改善支援センターは開設5年を迎え、全国に先駆けて県内病院を中心に医療機関の勤務環境改善への支援を行っている。この支援センターの運営には医師会、薬剤師会、看護協会をはじめ医療機関に係る9団体が運営協議会委員となっている。この9団体に対して支援センターの活動を知るための研修会を順次開催している。」という事で、今年度は臨床検査技師会でも研修会開催をしたいという依頼があった。時間は15分程度ほどで、まず理事会で15分ほど話をさせてほしいという事だった。12月の理事会の冒頭15分に話をしてもらおうがよろしいですか?(浅野会長)
- ・具体的に何の支援かわからないので良いと思う。(佐藤精度管理部長)
- ・支援センターが活動している施設もあるが、実際そこに勤務しているスタッフも実態が分かっていないようなので、何の活動をしているのか、我々にどういう影響があるのかをまず話を聞き理解してもらい。活用できるなら、こちらからもアプローチや相談もできると思う。(浅野会長)

異議なし。以上承認された。

4. 平成30年度 災害派遣技師研修会について

日時：平成30年12月14日（金）13：30～18：00

平成30年12月15日（土）9：15～12：30

場所：日本臨床検査技師会館 3階 第1会議室

〒143-0016 東京都大田区大森北 4-10-7

・災害があつて、被災地に行つて支援する人の研修会。定員60名で都道府県技師会の災害時連絡責任者または、推薦者を優先し募集するという事になっている。岐阜県からもどなたか参加してもらいたいが12月14日（金）は理事会の日にあたる。受講料、交通費、宿泊費に関しては、岐臨技で負担する。被災地にはDMATなどで行く機会があるかもしれないが、臨床検査技師として行く機会は、エコー等で行くかもしれないが少ないと思う。施設のスタッフ等、理事の方も参加希望のある方は申し出てください。希望者がいない場合は、岐阜県の災害時連絡責任者の兼子前会長にお願いする。（浅野会長）

5. 災害共済金の支給について

・「平成30年7月豪雨」による災害共済金の申請に対し、長谷部副会長の申請が通つた。（後藤庶務部長）

・床下浸水のためCランクという結果だった。今年の台風21号や24号等で被災した会員がいれば、災害共済金が支給されるので申請をお願いします。詳細は岐臨技のHPにも掲載している。（浅野会長）

6. 臨床一般検査研究会および大日本住友製薬株式会社共催セミナーへの後援名義のお願いについて

・この会の会長が稲垣先生（岐大）で、一般分野の講演の依頼が毎年ある。今回のセミナーには岐大の石田真理子先生が演者になっている事もあり、後援の依頼を受けてもよいか？（浅野会長）

異議なし。以上承認された。

7. 平成30年度日臨技中部圏支部医学学会懇親会について

・中部圏支部学会（今回は三重県担当）の懇親会は毎回余興を行つていて、今回は「各県会長ジャンケンゲーム」と「カラオケ大会」が行われる。ジャンケンゲームについては各県から名産品（お土産）を1～2個用意することとなっている。当初6千円程度と聞いていたが、3千円は三重県技師会が負担するという事になったため、3千円を超えた分は当技師会から負担することになる。（浅野会長）

・お土産として、飛騨牛カレーと高山ラーメンなどのセット（1,500円×2名分）を長谷部副会長が常務理事会（11/16）までに準備することとなった。

・カラオケ大会については大垣市民病院の新人女性3人にお願いした。（浅野会長）

8. 「連盟ニュース」について

- ・日本臨床検査技師連盟より「連盟ニュース」が届いた。(後藤庶務部長)
- ・技師連盟は毎月「連盟ニュース」を発行している。読んでどのような活動をしているか知ってほしいという事で、理事会での配布と各施設への配布要望があった。今回、理事会での配布と定期便での施設配布を行う。技師連盟の活動を読んでいただき、また技師連盟への加入もお願いしたい。今後はHPでの閲覧や各施設で閲覧できるように各施設で配慮してほしい。岐阜県での技師連盟への加入状況は、23名と非常に少ない。強制はできないし、1口千円から3千円と値上がりはしたが協力をお願いします。加入の多い県は静岡県で200名ほどの加入。三重県も80名ほど、愛知県も100名ほどこの地区は多い加入となっている。周囲の方にも連盟への参加の呼びかけをお願いします。(浅野会長)

【岐阜地区より】

岐阜市民健康まつりについて

平成30年11月4日(日)に岐阜市文化センターにて第39回岐阜市民健康まつりを行う。その打ち合わせを10/4に岐臨技事務所で行った。機材搬入については、前日の11/3(土)17:00より備品を搬入し設置。検査機器は当日8:00より搬入する。検査項目は昨年同様、尿検査(定性)、血管年齢、頸動脈超音波を行う。協力スタッフに関しては、昨年38名だったが、今年度は30名と少ない状況。(後藤庶務部長)

【西濃地区より】。

「第23回市民の健康広場」について

・9/27(木)に「第23回市民の健康広場」の打ち合わせ会議を行った。実施内容は、血管年齢の測定(機器の手配は揖斐厚生の外川先生)、骨密度の測定(機器の手配は揖斐厚生の外川先生)、認知症の測定(大垣徳洲会清水先生:日臨技からPCを借りる)、血液検査についての説明(例年通りパネルを使用)、成人病予防に関するリーフレットは手配中。リーフレットに関しては、例年用意されているが、今回は適当なものがなかったため公立病院共済会に依頼して生活習慣病の資料(パンフレット)を取り寄せた。良いパンフレットもあったのでいくつか用意してきた。300部購入の場合1枚当たり18円ほど、税込みで7千円ほどになり全部購入すると5~6万円。ネットでダウンロードするとsampleの文字が出てしまうし、著作権の問題もあるため1~2部を購入したい。承認をお願いします。スタンプラリーの景品に関しては、保健センターから景品が提供される。各参加団体の実施内容を見ると同じような検査項目(血管年齢など)があるため、データのバラつきは発生してくるため、参加者から問い合わせがくると予想されるため対応も準備しておきたい。スタッフは14名。(松浦理事)

・パンフレットに関しては他の健康まつりでも利用してもらえばよいが、全部というわけにはいかないので1~2部で7千円ほどの(予算)追加となる。西美濃厚生の川島先生から

糖尿病に関する資料もあるという事だったので確認をお願いします。(浅野会長)

異議なし。以上承認された。

【飛騨地区より】

1. 平成 30 年度第 29 回健康まつりについて

・9/23 (日) 高山市保健センターにて健康まつりを行なった。9:30~14:00 で実施し来場者 2,600 名 (今年度の実績は未発表のため昨年の実績)、検査コーナーへの来場は 180 名、骨密度測定は 130 名、物忘れ相談プログラム 50 名 (整理券配布)。スタッフは高山赤十字病院と久美愛厚生病院で 20 名の協力があり、検査~検査説明を行なった。骨密度と物忘れ相談プログラムの機器は日本光電からのレンタルとした。物忘れ相談プログラムに関しては報告書も出せるという事だった。機器の請求書が届いていないので、決算は次回の理事会報告となる。(松本理事)

・次回理事会で決算をお願いします。(浅野会長)

2. 第 57 回岐阜県医学検査学会について

・開催日は学会開催日：平成 31 年 3 月 31 日 (日曜日) 午前 9:00 受付 午前 9:30 より開催

実務委員準備：3月30日 (土曜日) より

3月31日 (日曜日) 午前9:00 受付開始 (スタッフ 8:30 集合)

場所：星雲会館 (最大収容人数 200 人)

議題：企画書 (案) について

学会長：黒木 康則 (高山赤十字病院検査部技師長)

実行委員長：藤木 誠 (下呂温泉病院臨床検査部副技師長)

事務局：熊崎 幸代 (下呂温泉病院)

実行委員：8名、当日運営委員：上記の実行委員のほかに2名

教育講演：鈴木 康先生 (下呂温泉病院院長)

市民公開講座：赤梅尚子先生 (あかうめ音楽教室主宰)

学会プログラム (案)

9:00~受付開始 16:00 閉会の予定

第 57 回岐阜県医学検査学会 タイムスケジュール

9月4日：実行委員会にて上記内容協議

10月：学会案内配布、一般募集案内配布、広告趣意書配布を10月定期発送

11月1日：一般演題募集開始、広告募集開始、ランチョンセミナー募集開始

11月30日：一般演題募集締め切り (12月の理事会で報告予定)

予算 (案) について

事業収入：参加費収入 (参加費)：80,000 円 (1000 円×80 人：前年度 100 人だったが、飛騨地区を考慮して 80 人で想定)、広告料：80,000 円 (8 社見込み)、研修会等協賛金 (ランチョン協賛費)：100,000 円 (1 社 50,000 円 2 社予定)、学会事業収入合計 260,000 円

支出：会場費（星雲会館）52,065 円、消耗品、印刷製本費：279,180 円（2 社見積もり）、
諸謝金 85,000 円（病院長 50,000 円、市民公開講師 30,000 円、交通費）、食卓費
86,400 円（1,080 円×80 個）、旅費交通費、日当、振込手数料で学会事業費支出合計
524,645 円

学会事業費収支合計 -264,645 円

印刷の製本部に関して、400 部で算出したが、飛騨地区ということで前年度に倣って 400 部にしたが多いかもしい。ポスターは宣伝として各施設に貼り、下呂市の公共の場で貼れるのは市民公開講座のみで、30 枚作成とした。抄録集が少なくできるとしたら、抄録の中に市民公開講座のポスターをカラーコピー（何十円/1 枚）し挟み込んで良いかと思う。（熊崎理事）

- ・病院長は教授クラスと同等で諸謝金は 5 万円、副院長は准教授クラスで対応している。また、県学会は助成金の対象外となる。助成金に関して研修会は 3 月に入ると申請が下りない。一般演題募集締め切りは 11 月 30 日、抄録締め切りは 1 月 10 日。（浅野会長）
- ・抄録は 400 部で妥当か？（川合会計部長）
- ・前回の県学会は岐阜地区で参加人数は 130 名だった。各施設に事前配布として 1 部ずつ、発表者、座長、賛助会員、自宅会員等々で 340～350 部必要だった。不足してはいけなかったので 400 部は妥当だったと思う。参加人数が少ないと考えると若干減らして、350 部でもよいかもしれない。（浅野会長）
- ・350 部に減らした方がよいか？（熊崎理事）
- ・できれば学会参加人数を増やした方がよいので、一般演題を飛騨地区担当ですが学術の協力を得て部門単位で岐阜地区何題、西濃地区何題などと募ってもらえればよいし、多くの施設から演題が出れば、若いスタッフが発表すると思うので先輩や上司も帯同すると思う。参加者 100 名を目標でお願いします。現段階では 400 部という予算で、状況を見て減らせばよいと思う。現時点では 26 万円ほどの赤字です。（通常は 20 万円ほどの赤字）以上、予算に対し承認をお願いします。（浅野会長）

異議なし。以上承認された。

【中濃地区より】

1. 平成 30 年度秋季拡大研修会について

・11 月 18 日（日）に開催を予定している。先月の定期便で各施設に案内を配布した。参加申込書も届いていると思うが 10 月 31 日必着となっている。また、病理、遺伝子となっているが、担当ではない方にも興味のある内容になっていると思うし、今後の医療業界の主流（部門に関係なく医療の中心）になってくると思われるので参加をお願いします。広告協賛に関しては、10 社予定して 10 社応募がきた。井上精機、富士レビオ、Sysmex、alfresa、協和メディックス、極東製薬、アークレイ、積水メディカル、シーメンズ、デンカ生研の

10 社。

・秋季拡大研修会は「今後のがん医療」がテーマで、緩和ケアの先生や遺伝カウンセラーの話がある。遺伝カウンセラーの先生にはどのような活動をしているか聞くこともよいと思う。ぜひ参加をお願いします。(浅野会長)

【東濃地区より】

議題なし。

【学術部より】

1. 臨床生理部門研修会について

・超音波研修会で外部講師の依頼をした。講師料は3万円。以上の審議をお願いします。日臨技の予算は収支0円にしている。(渡邊学術部長)

・日臨技の助成(35,000円)を受けて行う。支出は41,000円で若干の赤字。

異議なし。以上承認された。

2. 輸血細胞治療部門研修会予算について

・消耗品8万円。(会費は3千円)について、審議をお願いします。(渡邊学術部長)

・座学ではなく実習の研修会なら、試料代もかかるため受益者負担というのも良いと思う。今後、実習の場合は今回のケースを参考にしても良いと思うし、実習の研修会も実施してもらえればよいと思う。(浅野会長)

異議なし。以上承認された。

3. 臨床血液部門研修会予算について

・9:30~12:00の研修時間、会員講師4名。それぞれが1時間以上講義を行うと4時間以上となるはずなのに2時間半しか講師料がついていないという事で意義があった。確認したところ顕微鏡4台用意し、それぞれに講師を配置し、さらに手元にPCを使いPowerPointで症例の解説を同時進行で行うということで1人1時間以上×4名となるという事だった。今回のような事例を講師料とみなすのかなど審議をお願いします。(渡邊学術部長)

・会員の講師料について、以前は部門講習会で講師をすることは実務員扱いで千円としていた。しかし、講演するにあたり準備が必要ということで時間に合わせ上乘せすることになり、30分以内は千円、30分~1時間以内は2千円、1時間以上は3千円という取り決めをした。今回のケースは1人当たり3千円だった。実習ということで受講生が鏡検をし適時アドバイスやコメントをすと思っていたが、確認するとマンツーマンのような形でレクチャーしていく内容だった。今回のケースは判断が難しいため理事会に諮った。(浅野会長)

・3年前の血液部門長時代に同様の内容で行った時には通してもらった。(渡邊学術部長)

・今回は兼子前会長から指摘があった。実習の講師を実務委員と同等の扱いにするのか、講師にするのかの線引きが難しいため予算が確定できないという理由だった。今後各部門

で同様なケースがあると思う。(川合会計部長)

・以前学術部門で取り決めを作成し理事会に挙げ決を取ったが、今回はその手順を待っていると間に合わないので、今回のケースに関しての判断をお願いします。今後に関しては、学術の部門長会議で今回のケースも出てきているという事で検討をし、理事会に挙げてください。(浅野会長)

・前議題の輸血部門も実習で会員講師が6名いるが、輸血の場合も講師料は3千円になるのか？(乙訓理事代理)

・あくまでも3千円というのは、講演に対しての3千円。今回のケースは講演とは異なるため難しい。(浅野会長)

・先日の神経生理の時の研修会では、脳波の症例説明を1人30分ずつスライドを使用し登壇し説明をした。このケース(神経生理)は良いとして、今回のケース(血液)も顕微鏡の前に座って同様に症例解説(スライドを準備・使用)をしているので、その辺りを加味して判断してほしい。(渡邊学術部長)

・レクチャーの正味時間で判断することになる。(浅野会長)

・9:30~12:00(2:30)で「IgG関連疾患について」(講師:板橋さん)は45分の時間を取っているので、残り1時間45分は座って説明していることになる。参加者が顕微鏡(ブース)を移動(ブース毎にリンパ腫関連、白血病関連などと分かれている)しレクチャーを受けていく形式で行っている。(渡邊学術部長)

・学術部門での取り決めや研修会の形式を(予算書に)付けてもらえると、会計の審査で判断しやすくなるため、今後は取り決め等をお願いします。今回のケースは千円か、2千円か、3千円かで決を取りたい。今後に関しては、学術部門で取り決めを作成し理事会に挙げてください。(浅野会長)

3千円の意見が多く今回のケースは3千円と承認された。

・日臨技の助成申請をしているが、その予算書と岐臨技の予算書とで金額が異なる。岐臨技での予算書には日臨技の助成金が入っていない等不備があるため修正し再提出してください。(浅野会長)

4. 「岐阜県臨床検査技師会誌」投稿論文募集について

・投稿論文がなかなか集まらないため、掲載条件に各種専門分野の学会(全国)発表等の演題を加えたい審議をお願いします。(渡邊学術部長)

・毎年演題を集めるのは大変で、前回は岐阜大学(病院)にかなり協力してもらった。できれば、技師会の学会での発表のものを掲載したいが枠を広げることを考えたい。(浅野会長)

異議なし。以上承認された。

【精度管理事業部より】

平成30年10月 精度管理事業部報告

・活動計画：一次報告書発送（C・D 評価施設のみ）10/5 発送済。C・D 評価に関して二次サーベイができないものに関しては送っていない。（1 施設のみ）、現在本日（10/12）期限で二次サーベイを受けるかの意思表示確認（各担当者に電話連絡）、二次サーベイ資料発送 10/16（16 時）、再入力期間 10 月 22～23 日（結果修正だけではなく、是正報告書の提出をお願いします。昨年は結果修正のみで是正報告書が提出されていない施設があった。）、結果修正した結果で最終報告がされるので C・D 評価はかなり減る。（ほぼ A・B に近づく）

一次報告書発送状況：一次評価結果として AB は 12 施設（メーカー除く）、C は 14 施設、D は 33 施設、合計（CD）は 47 施設。その中の 1 施設は血算が D だった。血算は生血のため二次サーベイができないため、そのまま（一次）の評価となる。残りの 46 施設には一次報告書を発送した。その施設には、二次サーベイを行ってもらい再測定や（フォトサーベイは）結果修正を行ってもらい最終結果を出す。二次サーベイ報告書と共に日臨技精度管理保障施設認証制度の案内も送る。

問い合わせもいくつかあった。

是正報告書の提出先はどこか？→各担当で連絡先は添付の連絡先に

是正報告書は FAX でいいか？→想定していなかったため（昨年までは郵送されていた）、精度管理会議で検討する。

是正報告書は二次サーベイ参加しなくても提出する必要はあるか？→二次サーベイ参加しなければ提出する必要はない。但し、参加せず CD のままでは、保健所などの立ち入り検査で指摘される場合がある。二次サーベイを行っても CD の施設はある。ただし、是正報告書を送っていれば、監査の時に是正をした証明になる。

C 評価だったので（C 評価の項目だけ）参加しなかった事にできないか？→できない
精度管理報告会における、技師長会議について（役員からの意見）：報告会に時間内で行うことについては反対と賛成の意見に分かれたため 10/26 の第 2 回会議で検討する。

日臨技精度管理保障施設認証制度の案内について：CD の施設に送ったが、案内書が日臨技の HP にあった（内容も分かりやすい）ため次回の定期便で送ろうと思うがどうか？（佐藤精度管理部長）

・日臨技精度管理保障施設認証制度の案内に関しては（日臨技の案内を定期便で）お願いします。一次評価 CD はどの項目が多かったのか？（浅野会長）

・生化学の一部。生理検査（心エコー、心電図）が多かった。心電図に関しては正解率が 50%のものもあったので問題として不適切だったかもしれないと思ったが、研究班からは問題ないという事だった。問題としては 7～8 割の正解率がないと問題としては適正ではないと思う。（佐藤精度管理部長）

・正解率が 50%の問題に関しては適正かもしれないが、実際正解率がそこまで低いと評価対象外にした方がよいかもしれない。（浅野会長）

・二次サーベイで回答率が上がる（8～9 割）こともあるので、その場合は問題ないと思う。二次サーベイの結果をみながら検討したい。フォトサーベイに関しては、質問側と回答側

でズレがある場合があるのでなかなか難しい。(佐藤精度管理部長)

・フォトサーベイは主観が入るので、できる限り問題を作成したらどこか(部門の中)でプレサーベイで検証を行ってもらえるとよい。(浅野会長)

・検証は行っているが、(生理)部門の専門家が作成しているため、(生理)部門外のスタッフがみてもよくわからない事が多い。(佐藤精度管理部長)

・部門のスタッフはよりスキルの高い方が多いと思うが、この問題は是非答えてほしいという問題であっても意外と答えられない問題もあるので、その時の精査(評価対処外の教育問題にするなど)が必要なので考慮した問題作りをお願いします。(浅野会長)

【組織調査部】

1. 「平成 30 年度 都道府県技師会リーダー育成研修会」 受講対象者派遣について

・平成 31 年 2 月 10 日(日) 都道府県技師会リーダー育成研修会を行う。次世代リーダーを目指す技師の現状脱却に向けての自己変革について講習する。対象者は岐阜県臨床検査技師会会員で臨床検査技師として中堅以上の経験者(30~40 歳代)。もしくは、技師会の役員(理事、各部員、学術部門長・部門員等) 経験者が望ましい。募集人数は 30 名。

カリキュラムは午前中が講義で日臨技執行理事や岐臨技会長の講義、富士ゼロックス総合研究所講師による「自己変革のポイント」の講演、グループディスカッション、まとめがある。(澤野組織調査部長)

・予算書をお願いします。今回富士ゼロックスをお願いをした(若干高いが値引き有:20 万円)。今回は面白い内容(自己変革や意識改革)になっていると思う。現理事や自分の(育ててほしいと思う)部下がいれば是非参加を促してほしい。(浅野会長)

2. 平成 30 年度無料H I V検査会への協力について

・岐阜県健康福祉部保健医療課の「無料H I V検査会」への協力という事で、会員を派遣します。平成 30 年 11 月 3 日(祝) ハートフルスクエアGで、昼からH I V迅速検査の尿検査会が行われる。検査前研修会として平成 30 年 10 月 19 日(金)に岐阜県健康科学センターで研修会が行われる。無料H I V検査会の参加者は澤野組織調査部長、清水さん、徳洲会の清水さん、山本さん(東海学院)。あと数名岐阜地区の方中心に募集している。お願いします。(澤野組織調査部長)

・岐阜地区の方で参加しても良いと思われる方は澤野組織調査部長に連絡をお願いします。(浅野会長)

3. HIV 啓発運動(岐阜経済大学:西濃地区担当)について

・平成 30 年 10 月 19 日(金)に岐阜経済大学(西濃地区担当)で HIV 啓発運動が行われる。必要啓発グッズとして、「エイズデー」ポスター(B2 判)2 枚、「エイズデー」ポスター(A2 判)2 枚がある。料金は無料だが送料は岐臨技負担。必要な冊子として『HIV 感染症・エイズ HIV 検査普及週間 2018』200 部で料金は無料だが送料は岐臨技負担となる。リーフレットのみでは貰ってもらえないので、前回同様パックのお茶を付けて配布をする。(澤野組織

調査部長)

・西濃地区スタッフが8~9名で実施することとなっている。(浅野会長)

4. 平成30年度検査と健康展について

・平成30年12月2日(日)10時~15時にわかさプラザ(関市)で行われる。各部門で出した企画(前回とほぼ同様)がある。臨床専門医会からは2名医師が派遣される。

予算としては収入:日臨技助成金として50万円が振り込まれている。支出:会場費と設備費で予算が取ってあるが実際は無料となる。実務員は10名程度の募集をしていて、募集案内は定期便で発送する予定。(澤野組織調査部長)

・予算書に関して意見はありますか?予算について承認は?(浅野会長)

・備品にスパイロフィルターが入っているが機器はどうなっているか?昨年は大学の機会を使用して、その機器に合うフィルターを準備した。(渡邊学術部長)

・機械はメーカーから無料で借りられる。(澤野組織調査部長)

異議なし。以上承認された。

・検査と健康展の実務委員に関しては参加できる方は申し込み(澤野組織調査部長宛て)をお願いします。定期便で郵送される。(浅野会長)

【広報宣伝部】

1. 7/20に57号の機関誌を発行した。内容は新理事紹介、春季拡大研修会、新人サポート研修などを報告した。予定では58号が10月に発刊予定だったが、時期的に記事が少ないため11月に発刊したいと思う。各地区でいろいろなイベントを行っていると思うが、広報宣伝部から地区代表に連絡をするので記事の協力をお願いします。(高崎広報宣伝部長)

【渉外部】

議題なし

【会計部より】

今月の29日に上期の会計監査があるため、通常は一月分ずつの会計確認を行うが今回は8月分と9月分の会計確認を行った。会計は8月、9月分と適正に処理されていた。8月分の前年度比今年度は¥869,802円、昨年は¥696,908円、差額は¥172,894円となり支出が増加している。また、4月~8月までの前年度比は94万円ほど多くなっている。原因としては、業務増加による事務員さんの給与支払い増加。8月比は¥35,000円ほどの増加、4月~8月の計の比では13万円ほどの増加となる。事務員さんへの支払いのみではなく全体的に増加傾向にある。技師会の新たな取り組み(人材育成など)に対する、会議やイベント等も費用がかさむ原因となっている。また、送料や消耗什器備品なども増加している。9月は各種行事やイベントそれに対する会議、部門研修会、人材育成などかなり盛りだくさんの行事があるため、旅費交通費(約13万円)、日当(約8万円)、食卓費(約9万6千円)。精度

管理の試薬・試料代が 54 万 8 千円ほどあるので、これが一番大きい。上期の結果をふまえて、下期の予想や年間の予想や年度末までの対応の協議も行った。上期の支出が約 701 万円、現在の残高が約 565 万円。下期に得られる収益が予算からすると 140 万円程と思われるため残高+下期収益で約 705 万円となり、上期と同じような支出額なら若干の黒字となる。全体的に増加傾向にあるため節約を念頭に置いて各行事運営をお願いします。(川合会計部長)

・昨年度と今年度で年度の予算からすると今年度の方が 100 万ほど高い状況から始まっている。今年度は半期で支出が 700 万円、下期見込める収入を含むと同等の額が下期に使えるであろうと思われる。例年通りの状況でいけば若干の黒字は見込めるとと思われるが、昨年度と比べると事務員さんの給与が毎月増加していることが懸念材料となる。しかし、毎日非常に膨大な作業を強いられていて時間外の発生もやむを得ない状況なため、この部分を削減することはできない。この作業を軽減できる策があれば良いが(理事が事務所をお願いする仕事を理事が行う事になる)難しい。事務員給与 20 万円前後が現状となっている。イベントに対する経費を抑えられるところは抑える意識で予算立てや企画をしていただけると助かる。ケチなことはする必要はないが、無駄な部分は削除する意識をお願いします。(浅野会長)

【その他】

1. 岐臨技 HP (学術部サイト) 運営の為にノート型 PC と Pocket Wi-Fi について

・ノート型 PC 購入と Pocket Wi-Fi の契約の報告がある。(渡邊学術部長)
・ノート型 PC (¥118,800 円)、Pocket Wi-Fi 契約 (月々¥2,680 円)。学術より提案が上がってノート型 PC は学術の棚橋さんの手元にあるが、学術の持ち物ではなく技師会の会員の方みなさん使っていただけなので、必要な場合は渡邊学術部長に相談をお願いします。(浅野会長)

2. 多職種連携のための臨床検査技師能力開発講習会

・9月29~30日に多職種連携のための臨床検査技師能力開発講習会を行った。30日の午後の講演は台風の影響で順延した。順延日は1月19日(土)午後で追加分を行う事になった。案内は次回定期便で研修会を受けられた方に送られる。参加(登録)をお願いします。(浅野会長)

3. 理事、部門員の活動について

・各イベントやそれに伴った会議があるが、必ずそれに対する出張の申請書、復命(報告)書の提出を事前をお願いします。会計部ではその資料をつけ合わせて確認しているため遅延・遅滞なくお願いします。(浅野会長)

4. 災害対策について

・この辺りで大震災が起きた場合、各施設で災害対策チームが発足して活動すると思うが、技師会としても同じように災害時の対応を迫られる。必要に応じて日臨技より応援を呼ん

で派遣や各施設・各地域の被災状況の確認作業を技師会として取る必要もある。今までがそういうマニュアルがなかった事もあるため、技師会としても災害対策マニュアルや災害対策チームを作っていきたいと思っている。事務局がここ（岐阜地区）にあるので周囲の方が協力メンバーになると思うが、マニュアル作成に関しては現理事中心で作成していきたいと思うので理解と協力をお願いします。（浅野会長）

5. 技師長（施設代表者）連絡協議会、改正医療法等に関する行政からの説明会について

・改正医療法等に関する行政からの説明会を行う。先日県庁に訪問し12月に行うこととなったため日にちを決定したいと思う。候補日としては、12/15、時間は14:30～、場所は岐阜医療科学大学を使用したい。（浅野会長）

・この日は健康イベントを行っている。何名くらいの参加か？早緑ホールの使用か？教室（定員100名）でもよいか？スライド使用は？（高崎広報宣伝部長）

・場所は早緑ホールにしておいて事前に参加を募るが申し込み人数が少ない場合は、早緑ホールから教室に変更するのはどうか？講義形式で（説明を）行う予定。（浅野会長）

・スライドは教室の方がハッキリ映る。日にち、場所について問題はないと思うが（明日まで）確認する。（高崎広報宣伝部長）

・来週には医療整備課と連絡を取り開催日の確認をしたい。また、今月の定期便でこの資料を配布したい。12/15開催を進める。理事（特に常務理事）は出席をお願いします。（浅野会長）

・技師長（施設代表者）連絡協議会を今年から1回/年で開催したいと考えている。目的は岐阜県臨床検査技師会の組織強化、各事業の円滑な実施、施設間・会員間の繋がり、臨床検査技師の育成等を目指すため技師長の協力や理解が必要と思う。各イベントや事業を開催してわかると思うが、なかなか人が集まらないとか、良い研修を行っても知られていない事もある、災害時の対策など緊急時の各施設への連絡方法（技師長宛に一斉メールの配信をしたいなど）等話をし、相互認識したい。これを改正医療法等に関する行政からの説明会の後に行いたい。各施設の技師長（施設代表者）および岐阜県臨床検査技師会執行部で協議したいので、（常務）理事の方ご理解と参加をお願いします。改正医療法等に関する行政からの説明会は各施設の技師長や管理精度責任者の方は関心を持つと思われるので参加をお願いします。事前にFAXで募集をする。説明会は参加者に基礎点を付与することにしたので受付業務が発生する。中濃地区の理事で受付をお願いします。（浅野会長）

6. 平成31年第58回日臨技中部圏支部医学検査学会について

・10/23（火）岐阜医療科学大学にて、台風で延期になった会議を行う。ポスターもできあがった。（乙訓理事代理）

7. 中部圏内におけるヘマトキシリン・エオジン染色の標準化について

・中部圏内におけるヘマトキシリン・エオジン染色の標準化についての協力要請がきている。各施設に写真が送られてきて回答をする（アンケート形式）という調査をし、標準化・統一化に向けての研究・調査。結果に関しては来年の中部圏支部認定病理技師企画の講習

会で行う。各施設に案内が届くと思うのでご承知ください。(浅野会長)

議長 浅野 敦 

議事録署名人 森 晴 雄 

議事録署名人 糸山 里美 